



ふじまつ



「明るく」<あいさつができる>
「仲よく」<そうじができる>
「正しく」<上級生が手本を示す>

令和3年度を振り返って～子ども達・保護者の方に感謝～

令和3年度修了式を24日（木）に体育館で行いました。各学年代表児童に修了証書を渡しました。その後、校長からコロナ禍で、できない事ばかりを考えるのではなく、今置かれている状況の中で何ができるのかを自分なりに一生懸命に考え、有意義な学校生活になるように努力できたことは、自分の成長した姿として受け止め、自信をもって次の学年に進級してほしいこと。また、藤松小学校の素晴らしいところは、子ども達が、日々の学校生活で、きちんとあいさつができてきていること。何事にも一生懸命に取り組み、その取組を通して、自分の学力・体力・心の育ちの糧にしていること。さらに、校長が一番「ふじっ子」のすてきなところは、友だちのことを思いやることのできる優しい心を持っていることだと話しました。



これからも自分の可能性を信じ、目標に向かって頑張ってもらいたいと願っています。新しい学年での児童のみなさんの活躍と保護者の皆様のご健勝をお祈りしています。

（保護者の皆様へ）何と言っても、この1年間のコロナ禍、学校で子どもたちが無事に過ごすことができましたのも、一重に保護者の皆様、地域の皆様の本校教育活動に温かいご理解とご支援をいただいた賜物だと、校長より教職員を代表し、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。



この1年間で成長した子どもたちは、4月よりそれぞれ1つ上の学年に進級します。今後とも「チーム藤松」として、職員一同力を合わせて「ふじっ子」のために全力で指導してまいります。来年度もどうかよろしくお願いいたします。

さようなら藤松小～6年生を送る会、第47回卒業証書授与式～

3月8日（火）、6年生を送る会を行いました。今年の送る会は、体育館に6年生を常駐させ、各学年の出し物をドライブスルー方式で行いました。どの学年の出し物も心から6年生に感謝の気持ちが込められた内容のものでした。また、6年間の藤松小学校生活の思い出のスライドショーを上映しました。1年生の頃の幼い顔がスクリーンに映し出されると、大きな歓声があがりました。例年行われる体育館での全校児童が集まった送る会ではありませんでしたが、違った意味で、6年生一人一人に思い出となる送る会をすることができたと思います。なお、今回の送る会で1年生の出し物のオンライン映像が途切れてしまい、保護者の方には、ご迷惑をおかけし、たいへん申し訳ありませんでした。

次に、3月17日（木）、春の柔らかな日差しの中、第47回藤松小学校卒業証書授与式が行われました。来賓として、PTA会長 今津孝一様をお迎えし、卒業生、在校生、教職員、保護者の皆様で、厳粛な中にもお祝いの華やかさのある式となりました。校長の式辞では、6年生へ贈る言葉として「巣立ちの日に」という内容で話しました。

6年生のみなさん、みなさんのご健康とご活躍を祈念しています。ご卒業おめでとう！

お世話になりました～離任式終わる～

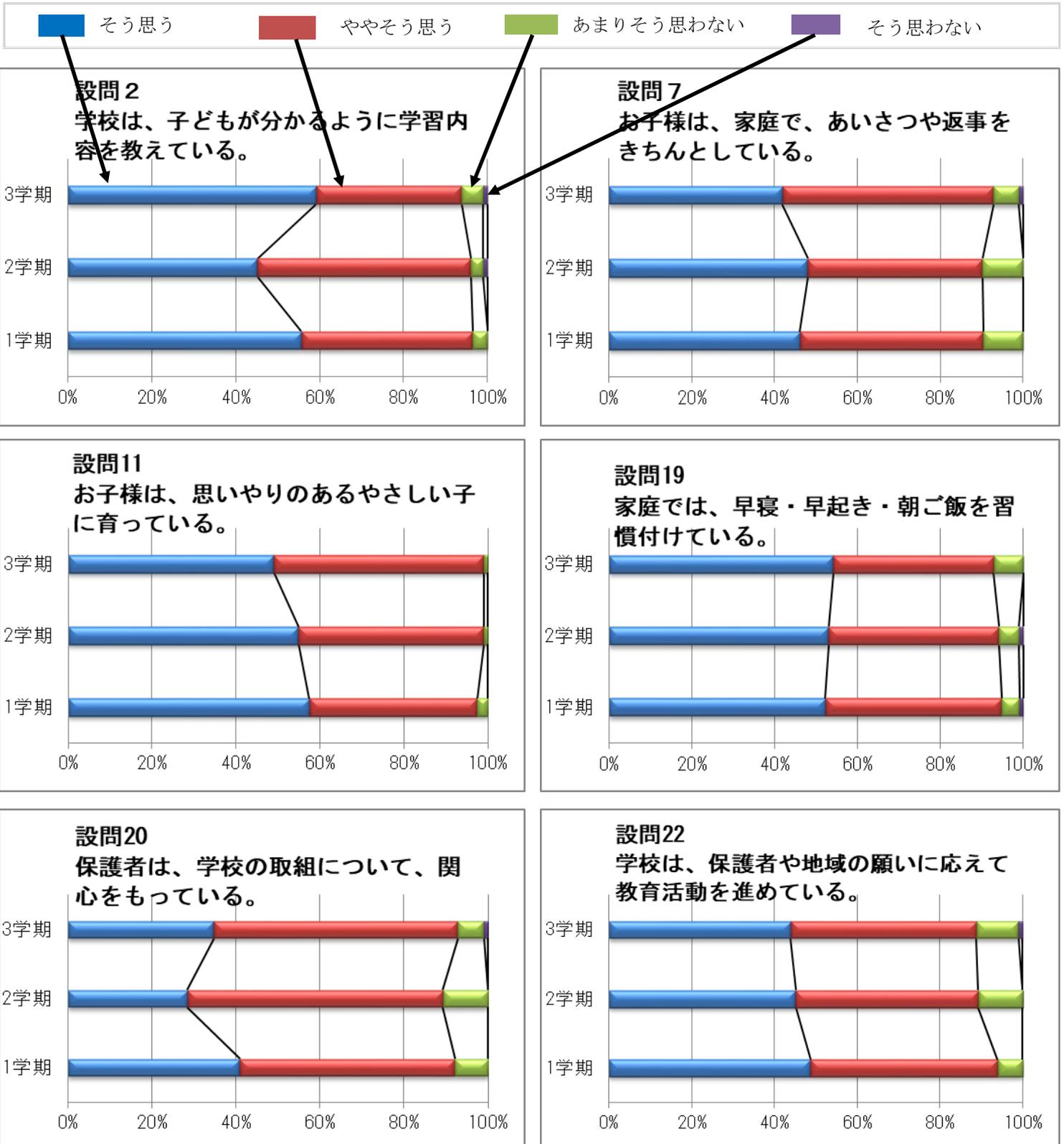
これまで、藤松小学校のためにご尽力いただいた先生方とのお別れをしました。離任される先生方お一人お一人から児童に対して、お別れの挨拶をいただきました。その挨拶を子ども達は、寂しそうな面持ちで聞き入っていました。今回の人事異動は以下の通りです。なお転出先等は、4月1日付の新聞等の報道機関でご確認ください。

個人情報保護の観点から掲載していません。

学校での生活や学習でのアンケートにご協力ありがとうございました。

このたびの学校での生活や学習でのアンケート（保護者用設問22問）に多くのご回答いただき、ありがとうございました。集計結果の一部をこの紙面上でお知らせいたします。

なお、詳細については、学校HPに掲載していますので、ご覧ください。



<学校運営協議会の委員さまからの本校一年間の教育活動についてのご意見>（一部抜粋）

○コロナ禍において、新しい生活様式の中、制約がある中での日々の教育活動、大変なことと思います。感謝しております。子どもたちの笑顔を大切に、楽しい学校生活が送れていると感じます。地域で子どもたちを見守るためのお手伝いをさせていただきます。元気にあいさつする姿、ルールを守って、礼儀正しい子どもたちに安心しています。

○礼儀正しく、穏やかな児童の皆さんの様子が、登下校の姿からも伝わってきます。そのまま成長して、緑丘中に入學してくだされば、緑丘中にとっても、望ましいことです。ご尽力に感謝申し上げます。